

Shaft Analyzer

AL7



新時代のフレックス計
3点剛性法測定器

チップ・バット・センターに掛かる剛性を
計算式により、調子係数とキックポイントの
関係を割り出します。

シャフトアナライザー
SA-350

- サイズ W350 x D200 x H340mm
- 重量 14.6kg
- 付属品 レンチ



剛性計算式

$$\frac{\text{チップ } T}{\text{センター } C} \times \frac{\text{チップ } T}{\text{バット } B} \times 100$$

調子係数とキックポイントの関係	
調子係数	キックポイント
～9.9	超先調子
10～14.9	先調子
15～19.9	先中調子
20～24.9	中調子
25～29.9	中元調子
30～34.9	元調子
35～	超元調子



端部より100ミリ・250ミリの位置にマーカーで
印を入れて左のブロックの印と合わせます。



チップ剛性 (T)



センター剛性 (C)



バット剛性 (B)



上部の丸ハンドルでセンターベアリングを下降させシャフトと接触させます。
後はレバーを押さえるだけの簡単操作です。

センターフレックス として使用できます

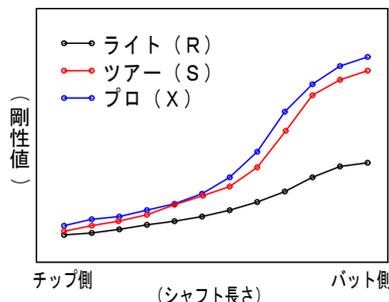
SA-350S

(センターフレックス付き)

- サイズ W910 x D200 x H340mm
- 重量 18.0kg
- 付属品 レンチ

治具を取り付けることで、
「センターフレックス計」としての
使用が可能になりました。
勿論シャフトスパインもOK!

剛性分布比較グラフ



(オプション)
センターフレックス用治具
SC-400



- サイズ W350 x D38 x H40mm
- 重量 3.4kg
- 付属品 レンチ